

ワイヤーメッシュ柵の設置によるイノシシの被害防止対策

1 要旨

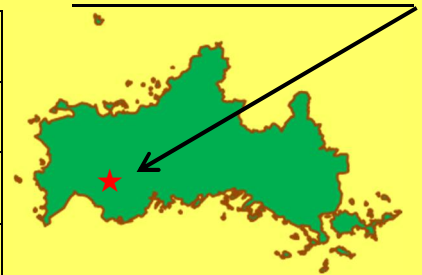
山陽小野田市石束・不動寺原地区は山陽小野田市の北部に位置し、水稻を中心に大豆や露地野菜の農業生産が行われているが、既設のワイヤーメッシュ柵や電気柵の老朽化に伴い簡易な補修では対応困難な破損箇所が増え、近年では破損箇所からイノシシの侵入が頻発し、農作物の被害が多くなっている。

このため、地区西側の既設柵を除去して新たにワイヤーメッシュ柵を設置し、地区東側の既存柵と一体的に地元住民による見回りや草刈りなどの維持管理活動を継続して実施する。さらにイノシシ捕獲の為に箱罠を設置することにより、被害の軽減を図る。

2 地区の概要

地区名	山陽小野田市 石束・不動寺原地区
主な作物	水稻、大豆、露地野菜
加害獣種	イノシシ
対策実施年度	令和5年度

山陽小野田市 石束・不動寺原地区



3 被害の状況と課題

○イノシシの侵入により地区内の水田で稲穂の食害や畦畔の掘り起こしが発生している。

また、ぬた遊びによる異臭被害も発生している。

新痕跡も複数あり、地区内で被害が分散している。

4 取組内容

(1) 事前現地説明会、関係機関との対策協議

地区代表者と被害防止の為に話し合いを行い、地区住民には対策実施への協力依頼を行った。農村被害にあった場所の現地調査を行い、調査結果を関係機関と共有を行い、対策を検討した。

(2) 対策の実施

イノシシの侵入防止の為に新しいワイヤーメッシュ柵を設置した。



5 取組の成果

○ワイヤーメッシュの設置によりイノシシに対する被害額の抑制。

【被害額】

(千円)

区分	事業 実施前	令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		実績	増減	実績	増減	実績	増減
イノシシ	100	0	▲100	0	▲100	—	—

6 地区代表者のコメント

○設置から2年以上経過したが、一度も侵入されておらず、獣害は発生していない。

数枚のワイヤーメッシュ柵をイノシシが破損したため、今後は定期的な点検を徹底する必要がある。

○2年続けてワイヤーメッシュを破損されていることから、緩衝帯など追加の対策を考えている。

○今後もイノシシの被害防止策については試行錯誤していきたい。

7 今後の取組

捕獲用箱罠を効率的に利用するためには生息域、出没域の状況把握が重要であるため、猟友会や地域住民と連携し、地域一体となり被害防止に対応できる組織づくりを目指し、効率的に捕獲ができる場所に箱罠を設置する。